



小江原小学校だより

# 光満つ丘・空と風

令和6年12月24日号

文責：秋山壽哉



## 「新しい年に向かって、いざ！」

本日、小江原っ子は、無事に2学期を終えることができました。2学期はじめに、「目標の壺」(頑張ること、在りたい自分)を設定し、日々「努力の水」をためてきた子どもたちです。

学年に応じて、学校生活におけるふり返りを行っています。ぜひ、ご家庭でも、お子様にこの一年をふり返らせていただき、新しい年 2025年の追い風を受けて、清く高らかに帆を上げられるよう支え、励ましてください。

皆さまのご理解とご協力のおかげで、2学期も日々の学習をはじめ、校外へ出かけたり、講師をお招きしたりしての活動が充実したものとなりました。校外学習において訪ねた施設や出会った人々からは、「小江原っ子のあいさつやマナーがよくなった」とのお褒めの言葉をいただくことがたくさんありました。

12月は、特に3年生と6年生が頑張りました。多くの3年生が、毎朝校門に立ち、朝のあいさつ運動に取り組みました。校門の前を通る地域の方々にも、大きな声であいさつしました。6年生は、毎朝、校舎横の落ち葉を拾い集めました。その姿を見て、時折、2年生や4年生の子どもたちも参加していました。いずれも強制された活動ではなく、自主的に始めた取組です。そこに、「新しい小江原小学校」の一つの姿がありました。

そのようなよさや頑張りが見られた一方で、普段の生活(登下校を含め)では、あいさつや返事、ろう下歩行などの課題も見られました。

褒められ、認められる、あるいは指導を受けながら、小江原っ子は貴重な学びを重ね、成長しています。

保護者並びに地域の皆さまにおかれましては、小江原っ子の健やかな成長のために、それぞれのお立場や各地域においてご尽力いただきました。誠にありがとうございました。

少し早い挨拶となりますが、皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。

## 「充実した『冬休み』とするために」

今年の冬休み期間は、12月25日(水)～令和7年1月7日(火)となります。3学期の始まりは、1月8日(水)です。なお、12月28日(土)から1月5日(日)は、学校を閉庁(年末・年始休み)しております。皆さまのご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日の終業式における校長講話では、以下の2つを話しました。

### ① 本を好きになってね、国語を好きになってね

今年1月14日、児童文学作家の中川李枝子さんが逝去されました。中川さんの作品は、ほぼ全てが幼児向けに書かれた物語です。そんな中川さんの作品の中で、ただ一つだけ、小学生に向けて書かれた物語…それが「くじらぐも」です。「あいうえおを覚えた子どもが、読むことの楽しさを知るために書いてね」って、頼まれたそうです。「くじらぐも」の物語には、「学校を好きになってね、お友達を好きになってね、本を好きになってね、国語を好きになってね」という中川さんの思いが、たくさんつまっているのです。

小江原っ子も、たくさんの本と出会ってください。国語の教科書も読んでください。教科書を読んで、好きな言葉を、すてきだなあと思う言葉を見つけてください。そして、習った漢字を読めるようになってください。

### ② 「けがなく・事故なく・事件なく」

「いのちはほうせき」

皆さん一人一人が大事な大事な存在です。

冬休みは、子ども達にとって、家族の一員として活躍する場があることや、新年の行事や伝統を学ぶ良い機会です。健康で安全に、そして、有意義に過ごせるよう各学級で「冬休みの生活」について指導しています。学校や各学年からの資料を参考にしながら、ご家庭の実情に応じた指導をお願いします。

特に、「メディアとの付き合い方」に見られる諸問題をなくし、危機を回避するためには、スマホやゲームなどの使用に関して、「ながさき基準」「長崎市PTA緊急メッセージ」などを基に、「家庭でのルール」の確認と見直し等、保護者の皆さまによる指導と管理をよろしくお願いします。